

愛媛県立図書館利用案内

★本を借りるとき★

1. 「利用カード」を作りましょう。
 - ・愛媛県在住・在学の方は、だれでもカードを作れます。
 - ・本人の住所確認ができるもの（生徒手帳や保険証など）が必要です。
2. 本は、5冊まで3週間借りられます。
 - ・カウンターに、借りたい本とカードを出してください。
 - ※本は大切に扱い、友達に貸したり失くしたりしないようにしましょう。

★本を返すとき★

1. 返す本をカウンターに出してください。（カードはいりません。）
 - ・次の予約が入っていない場合は、延長ができます。
2. 図書館が閉まっているときは、玄関外の返却ポストに入れてください。
 - ※本が汚れていたり、大事なものはさんだりしていないか確認してください。
 - ※返却期日を守りましょう！！

★本を探すとき★

1. 図書館の検索用コンピュータで探すことができます。
（書名や著者名で検索できます。）
2. インターネットや携帯電話から探すこともできます。
 - ※分からないときには、カウンターでたずねてください。

★本を予約するとき★

1. 予約カードに必要事項を記入して、カウンターに出しましょう。
2. パスワードを登録すると、インターネットや携帯電話から予約することもできます。
 - ※パスワードの登録は、カウンターで申請してください。



みきちゃん

愛媛県立図書館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内

TEL:089-941-1441(代) FAX:089-941-1454

★開館時間★(火～金)午前9時40分～午後7時
(土日・祝日)午前9時40分～午後6時
(子ども読書室は午後5時まで)

★休館日★ 月曜、館内整理日(月末)、年末年始

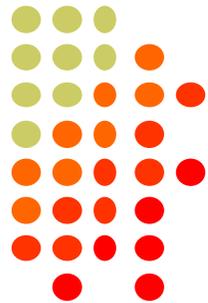
<https://www.ehimetosyokan.jp>

(携帯サイト <https://www.ehimetosyokan.jp/winj/mobileopac/top.do>
スマートフォンサイト <https://www.ehimetosyokan.jp/winj/sp/top.do>)

愛媛県立図書館 YAコーナー

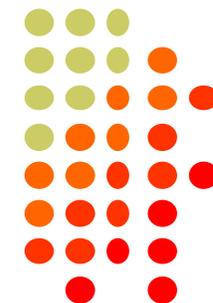
YAつうしん

Vol. 48 2017.1



★新刊案内★

- ☆『感染症医が教える性の話』岩田 健太郎／著 筑摩書房
- ☆『桜坂は罪をかかえる』藤本 ひとみ／著 講談社
- ☆『最強の働き方』ムーギー・キム／著 東洋経済新報社
- ☆『給食のおにいさん 浪人』遠藤 彩見／[著] 幻冬舎
- ☆『上手な脳の使いかた』岩田 誠／著 岩波書店
- ☆『戦略読書』三谷 宏治／著 ダイヤモンド社
- ☆『蜜蜂と遠雷』恩田 陸／著 幻冬舎
- ☆『憲法と君たち』佐藤 功／著 時事通信出版局
- ☆『語彙力こそが教養である』齋藤 孝／[著] KADOKAWA



『自分の顔が好きですか？ 「顔」の心理学』

山口 真美 著 岩波書店

顔は、自分と社会をつなぐ接点。私たちは顔で他を認識し、顔の表情で伝達しあいます。魅力的な顔は、よりよい人間関係を作りますが、「いい顔」とは目鼻立ちが整っていることではありません。

「いい顔」って？「自分の顔」って？「目力」「整形」「プリクラ」「カワイイ」ってなぜ？顔と心の関係は？「顔」に関するさまざまな疑問を心理学の立場から解き明かします。



『すきになったら』

ヒグチ ユウコ著 ブロンズ新社

すきになったら しりたくなる
あなたの すきなものを すきになったり
あなたにとって だいじなものを りかいしたくなる
だって いっしょにいたいから
女の子のモノローグとおしゃれな絵で綴る、「すき」という気持ち。
「すきになる」って、とても素敵で、不思議で、そして…。



『世界を7で数えたら』 ホリー・ゴールドバーク・スローン著 小学館

ウィローは、(風変りだが)高い知的能力を持つ12歳の少女。こだわりは数字の7、植物、感染症などについて。養父母の愛と理解に包まれていたが、ある日彼女の世界は突然崩壊してしまう。

そんな中、14歳のマイと親しくなったことで、ウィローは悲しみを乗り越え、マイの家族と暮らし始める。

ウィローの考えや行動で、マイのママのお店は繁盛し、タクシードライバーは大学に通い始め、マンションにはステキな庭ができ…彼女自身も困難にくじけず、自分らしく成長していく。



『話したくなる世界の選挙 ~世界の選挙をのぞいてみよう~』

コンデックス情報研究所編集 清水書院

日本の選挙権年齢が18歳からになりました。
あなたは投票に行きましたか？

誰かに「話したくなるランキング」形式で世界の選挙を紹介。オーストラリアの投票率は93%、中国の国会議員は3000人！インドネシアの投票はペンで書かずにクギで穴を開ける、イギリスの国会議員の給料は日本の国会議員の半分…。世界の選挙に関するあれこれから、日本の選挙や政治についても知りたくなります。



『声のお仕事』 川端 裕人著 文藝春秋

20代後半の結城勇樹は売れない声優。実質アルバイト生活(母いわく「ぷーたろう」)、事務所預かりの立場もそろそろ限界。声優としてもし成功してもお金持ちになれる保証はどこにもなく、ライバルは大勢いる。それでもプロとして声の仕事がしたい。そんな中、勇樹は野球アニメ「センターライン」のオーディションに落ちる。しかし、彼は別の役をもらったのだった！それはなんと、人気声優が演じる主役が恋心を抱く先輩…の飼犬「サブ」。

声で本当に世界を変えられると思っているんですか？声優お仕事小説。



ご質問やご意見は、メールでも受け付けます。

アドレスは、ya@libnet.ehimetosyokan.jp
(件名に「YAメールレファレンス」と入れてください。)

★お名前、連絡先メールアドレスも忘れずに入力してください。